

製品取扱説明書

【用途】コンクリート・モルタル、ブロック等の劣化防止・白華防止表層保護、防湿、防水に用いる。親水性による防汚効果が期待できる。
特に養生の心配のない施工部位や養生の出来ない部位。

1. 一般名 無機質浸透性 2 層構造防水保護材
2. 規格 社内規格
3. 特徴 ハイブリッド化した SKY-CVL は、短い工期や養生が困難な躯体、厨房内の漏水。トンネルや地下、密閉した場所では臭気のある材料は使用できず施工には多くの条件が課せられます。
SKY-CVL は特殊な使用方法により、クラックや隙間から浸透させ吸水性の低い磁器タイル等以外の無機質部分すべてを吸水防止処理させます。1 液化して施工でき工程を簡素化し全面に塗布だけの施工で工期短縮や重量物の下脚部分の防水を可能にしています。
※コンクリート床(下階に駐車場など)、床板などの漏水に SKY-G1 や SKY-CSP の複合工法による漏水補修に最適。

GHS ラベル要素
絵表示又はシンボル：



4. 一般性状	
項目	内容
主成分	高反応性無機触媒+変成シリコン+アルカリ金属塩+珪酸化合物+アクリル酸エステル共重合水性エマルジョン
容姿	1 液性
P H	10.01~11.12 (20℃)
荷姿	20kg・2kg 入り
色相	乳濁液
光沢	なし
比重	1.01~1.12 (20℃)
粘度	5mPa・s 以下
伸び率	100~160% (25℃)
溶媒	水

5. 塗装基準	
項目	内容
洗浄	新設、補修工事とも塗布面の洗浄を行う。
養生	施工面以外、飛散の恐れのある所は、基本的に養生をする。特にガラス、アルミ、埴栽等に付着しない様、出来る範囲で行う。
塗布	下地コンクリートは十分乾燥させてから塗布が効果的。一般的な塗布量は 0.12~0.25kg/m ² だが防水目的の場合はこの限りではない。ローラー、ハケ、噴霧器で塗布する。施工面にグリースや油、塗料の一部などが固着していても機能上問題がなければ塗布可能。
乾燥	乾燥養生が長い程、強度が増す。

6. 関連法則	
危険物表示	該当無し
溶剤区分	無機溶剤
有害物質表示	該当無し
劇物表示	非該当

株式会社ハイドロ・スカイ

製造・販売元 〒130-0002 東京都墨田区業平4-11-9
URL: /www.hydro-sky.co.jp
E-mail: hydro@hydro-sky.co.jp
TEL.03-5637-8834 FAX.03-5637-8874

HYDROSKY®

ハイドロスカイは商標登録商品及び社名です。

SKY-CVL

スカイ・シビルトラスト



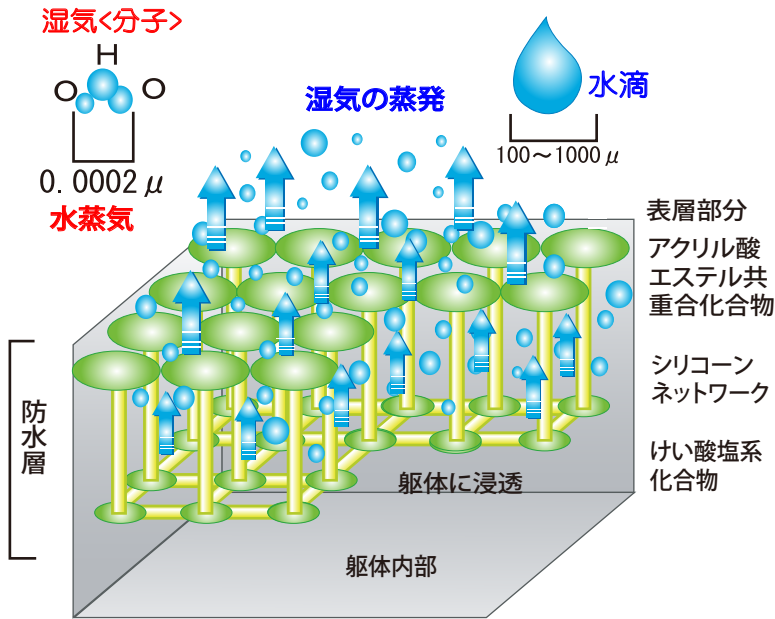
7. 使用上の注意 [警告]

特別危険性はなく施工上の注意を厳守。

8. 施工上の注意

1. 必ず良く振ってから使用する。
2. SKY-CVL は、塗布後の表面が元の色よりやや濃い色になる場合がある。
3. 施工場所以外に SKY-CVL が付着した部分はすぐに濡れたウエス等で拭き取って下さい。
4. 熱源や直射日光で施工面が 50℃ 以上の場合は、たっぷり水をかけて冷やすか日陰部分から塗布して下さい。
5. 冬、施工時が常温であっても夜間に 5℃ 若しくはマイナスになる場合は強制乾燥を行って下さい。
6. 塗布面のオイル・グリース・離型剤等を取り除く事ができ無い場合はその周辺より浸透させてください。
7. 塗布方法は特に選びません。躯体に充分含浸させることが重要です。
8. 開封後は速やかに使い切ってください。開封後の残剤は容器中の空気と化学反応を起こすので使い切ってください。短期的保存の場合は水分・ゴミ等が混入しない様にし、小さい容器に移し替え内部の空気を少なくしフタを密封、子供の手の届かない所に保管して下さい。また特に使用残分を元の容器に戻さないで下さい。
9. 塗布 3 日以降に散水し、施工面が吸水する場合は塗布量不足ですから、再度塗布して下さい。
10. 万一、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談するようお願い致します。
11. 0℃ 以下での保存及び施工は行わないで下さい。
12. 凍結した材料の使用は行わないで下さい。

メカニズム

コンクリート
劣化防止・保護防水イメージ

シリコン分子は表面や細孔で化学反応を起こし毛細管の内側で整然と並ぶと言われています。浸透した部分の遊離アルカリは水に溶けない物質例えば珪酸カルシウムに変化するため、本来の性質を維持することができる。その一部にアクリル酸エステル共重合化合物が覆うようになり水の侵入を防ぐ。効果として親水性による保護となり、表面のシリコンの網の目を水が通れないことです。シリコン化合物は浸透した後、内部で反応し安定した樹脂を形成し、吸水防止性能を長期に亘り発揮していきます。特にハイドロ・スカイは表面張力が水の半分以下であり、対象物に素早く深く浸透。これにより対象物が多少水を含んでいても、問題なく塗布することができ、これは浸透してきた水とハイドロ・スカイが入り替わるからです。特に中性化している対象物は高いアルカリ性(PH10~11)のハイドロ・スカイを使うことでアルカリ性を回復させる。亀裂内部の空隙細部までハイドロ・スカイは浸透されコンクリートの不足したカルシウムを付与させる。ゲル状に飽和して結晶性鉱物となり重金属類を固定してポゾラン反応を誘発させる。結晶鉱物化が進行するほど強度が増し透水係数が低くなる。

複合法 ハイドロフィット工法

- ◇優れた耐久性、防水性
- ◇耐アルカリ、耐熱、耐火、耐候、耐水、耐磨耗性等に非常に優れており、物理的強度を高める
- ◇ひび割れ内に水があっても注入可能
- ◇微細クラック（幅0.05mm）にも注入可能
- ◇環境にやさしい微粉末シリカ配合高炉スラグセメント
- ◇鉄骨の防錆効果とアルカリ骨材反応の抑制が可能
- ◇これらの組み合わせにより海水の漏水、有機系廃棄物処理施設の漏水、汚染物処理施設の漏水も止水
- ◇他のハイドロ・スカイと組合せ拡大



塩害防止工事



景観保護と劣化防止工事



用途

- 主な補修対象
- ◇ダム・トンネル
 - ◇ボックスカルバート
 - ◇防波堤
 - ◇擁壁
 - ◇ビル・マンション等
 - ◇コンクリート構造物全般

